



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

# 「カッコイイ」エンタメでは終わらないジブリアニメ。 『紅の豚』に込めた宮崎駿監督のメッセージ

## 追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪市中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

## OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

### 人気の記事 よく読まれている記事！

1 2021.09.02 地域・観光  
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌  
61463Views  
OTEMON VIEW編集部

2 2022.10.07 社会とくらし  
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点  
38265Views  
OTEMON VIEW編集部

3 2021.03.05 社会とくらし  
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。  
31822Views  
OTEMON VIEW編集部

4 2020.08.24 こころからだ  
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について  
22154Views  
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

## ニュースを教育・研究の視点から

ウクライナに対するロシアの軍事侵攻という名の「戦争」は、人道問題をはじめ資源や農産物の高騰など、日常の中にも戦争があることを私たちに投げかけています。いまなお戦争という人類の危機が起こり続ける中、宮崎駿監督の新作アニメ映画『君たちはどう生きるか』が注目を集めています。

また戦争がテーマの宮崎作品の一つに1991年勃発の湾岸戦争の翌年に公開された『紅の豚』があります。そこにはエンタメだからこそ語れる宮崎駿監督流の戦争に対する想いがありました。今回は作品に込められた戦争や現代社会へのアンチテーゼをアニメーション・文学研究者の文学部 奥田浩司教授とともに紐解きます。

(以下は主なポイント)

### 『紅の豚』が制作された時代と作品の時代背景

○『紅の豚』は世界恐慌期のイタリアが舞台

○作品に通底する「非戦」への想い

#### ①主人公・ポルコとライバル・カーチスの戦い

○飛行機(艇)乗りの話なのにラストでは機体を降りる

#### ②監督が示したユートピア

○戦争未亡人が歌う「さくらんぼの実る頃」

#### ③アメリカ映画『カサブランカ』との違い

○非戦であるがゆえの大義名分の無効化

#### ④戦争と子供

○子供の視点で描く希望

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/2937/>



奥田 浩司 教授(文学部) 専門:アニメーション、日本文学

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL : 072-641-9590

谷ノ内・仲西